

戦評用紙

大会名	第64回山形県高等学校総合体育大会バスケットボール競技		
-----	-----------------------------	--	--

日時	2013年6月9日10:30～	区分	高体連
----	-----------------	----	-----

チームA				チームB
山形中央				日大山形
<b>56</b>	12	1Q	17	<b>77</b>
	15	2Q	20	
	14	3Q	15	
	15	4Q	25	
		延長		

【戦評】

1Q、両チームマンツーマンディフェンスでスタートするが、両チームともフィールドゴールが決まらず得点が伸びない。日大山形#7佐々木、#10米野がフィールドゴールを決め始めると#13岸もベースラインをドライブし得点。山形中央は3-2に切り替え、#5今田のベースラインドライブやフィールドゴールで食い下がるも12-17で日大山形が5点差でリード。

2Q、山形中央#11會田が3P、交代で入った#17渡邊がフィールドゴールなど続けて決めて27-26と逆転。しかし、日大山形#10の3Pや#13のフィールドゴールなどで27-32となったところで、山形中央がタイムアウト。しかし、流れは変わらず山形中央のシュートはリングにはじかれ、日大山形は#5阿部の3Pなどで得点し、27-37で前半を終えた。

3Q、開始から日大山形#7が連続で得点31-45となったところで山形中央タイムアウト。その後、山形中央#6鏡が連続得点し、41-52で4Qへ。

4Q、日大山形が#7のドライブや#5、#6吉田のフィールドゴールで41-60と突き放すも山形中央#11の3P、#14工藤のフィールドゴールが決まるも後が続かず、逆に日大山形#16片桐のフィールドゴールが決まり54-77でタイムアップ。

終始、両チーム好守備によるゲーム展開となった中、フィールドゴール、3Pを効率よく決めた日大山形に軍配が上がった。

戦評者

鈴木 友和